

広報


 11
2013
NO.43

 発行／栃木市
〒328-8686 栃木県栃木市入舟町 7-26
編集／総合政策部秘書広報課
☎0282-21-2224

<http://www.city.tochigi.lg.jp>

今月の1枚

11月5日(火)、6日(水)に公開される山車の入れ替え作業。

(とちぎ山車会館で撮影)



山車会館で興奮をいつでも、多くの方に

とちぎ秋まつりや山車の魅力を体感！

◆問合せ先 とちぎ山車会館 ☎ 25-3100

なお、11月5日～7日の3日間は、同作業以外は休館します。

◇入替後の展示山車 桃太郎(室町)・神武天皇(倭町二丁目)・静御前(倭町三丁目)

まつり期間中は、普段見られない山車(万町二丁目・万町二丁目・万町三丁目)が山車会館外に登場します。絢爛豪華な山車をゆっくり眺める絶好の機会をお見逃しなく!!

◎山車会館の『山車』の入替が見学できます!

◆日時 11月5日(火)～6日(水) ※詳しくは栃木市観光協会のHP又はとちぎ山車会館へお問い合わせください。

11月2日(土)～3日(日)の2日間は、ふるさとまつりが蔵の街大通りを主会場に開催され、様々な物販・展示が行われます。また蔵の街第一駐車場は、買って楽しい、食べておいしいイベント、産業と物産展が開催されます。

※山車が巡行するとちぎ秋まつりは2年に1度開催され、次回は来年開催です。

平成7年2月に開館した、とちぎ山車会館(万町)は、県指定有形民俗文化財の山車の保存も兼ねて「とちぎ秋まつり」の興奮をいつでも楽しめるようにと、3台の山車を常時展示しています。山車展示室では、山車と映像と光と音を駆使してまつりを再現。2階の展示室では、「とちぎ秋まつり」の歴史と伝統を、実際にまつりで用いられる品々と写真パネルで紹介しています。

主な内容

- 【特集】 広島平和記念式典中学生派遣団の活動報告・・・2
- 市長通信「新市庁舎整備事業費について」・・・3
- 平成26年度学童保育利用申込受付・・・4
- 産業振興施策のご案内・・・4
- とちぎが生んだ詩人「柴田トヨ」回顧展・・・12

栃木市の人口

人口／146,646人(-9)

男／72,291人(+5)

女／74,355人(-14)

世帯数／54,647世帯(+37)

※外国人登録を含む
8月末現在()内は前月比



栃木市

市章

栃木市の「と」の文字をモチーフとして、緑色の4本のラインは自然、歴史、地域、人を表し、青色はそれぞれの流れが一つとなった大河の流れを、その先にあるオレンジ色の円は輝かしい未来と人々の情熱を表しています。